

「穏やかな日々を目指して ～T様の思いを知るために～」



社会福祉法人 つぐみ福祉会

福井事業所 生活介護

上司： 澤 千絵

サービス管理責任者

発表：井戸 優奈

生活支援員

社会福祉法人 つぐみ福祉会

団体発足 昭和30年 手をつなぐ育成会
法人設立 平成 3年 社会福祉法人化
設置場所 法人本部 7ヶ所の事業所

本部・丹南事業所



あわら事業所



丸岡南中事業所



おくえつ事業所



小浜事業所



若狭事業所



福井事業所



(社福)つぐみ福祉会 福井事業所

【令和6年12月時点】

◆生活介護

(定員20名 在籍27名)

- ・健康維持活動、創作活動、入浴支援など
- ・生産活動（糸取り、チラシ封入、箱折）※工賃支給
- ・音楽療法（ミュージックケア）、クッキング、社会貢献活動（リサイクル）



(社福)つぐみ福祉会 福井事業所

【令和6年12月時点】

◆放課後等デイサービス みらい (定員10名 在籍6名)

- ・創作活動、運動遊び、自立課題など
- ・クッキング
- ・就労体験（クッキー型抜き・ぼたもち作り・自動車部品組付け・軍手型はめ・糸取りなどの作業）



「穏やかな日々を目指して ～T様の思いを知るために～」

- | | |
|--------------|----------------|
| 〈1〉 T様について | 〈5〉 実施したこと |
| 〈2〉 支援の目的 | 〈6〉 実践して良かったこと |
| 〈3〉 支援に至った背景 | 〈7〉 現在実践していること |
| 〈4〉 ケース会議の開催 | 〈8〉 まとめ |

〈1〉 T様について

◎年齢・性別 : 19歳・女性

◎サービス : 生活介護（火・水・木・土曜日）※月、金曜は他施設利用
移動支援（月に1回：温泉、買い物など）

◎障 害 : 自閉スペクトラム症
療育手帳 A 1、障害支援区分 5（強度行動障害を有する）

◎服 薬 : エビリファイOD錠3mg（抗精神病薬）※夕食後 1 錠
セレニカR錠200mg（気分安定薬）※朝・夕食後 合計 7 錠
ツムラ抑肝散エキス7.5g（神経の高ぶりをやわらげる）※毎食前 1 包

◎ストレングス : ・人の名前や好きな歌の歌詞を覚えることが得意
・字の読み書き、簡単な言葉のやり取りが可能だが、
自分の思いを表現することは苦手
・集団活動は苦手だが、5分程度なら可能

〈2〉 支援の目的



**T様が『生活介護サービス事業所で
落ち着いて過ごせるようになる！』**



〈3〉 支援に至った経緯

令和5年6月頃（利用開始から2ヶ月経過）より...

①他利用者や職員に対する他傷行為が多くなる

その他にも ・ トイレに異物を流す ・ 嘔吐
・ トイレ以外での排泄 ・ ものを投げる
といった行動が見られる

②気持ちが不安定になると、大きな声で叫ぶ、
大泣きが見られ、周囲への影響が大きい



ケース会議を毎週開催

〈4〉 ケース会議の開催

ケース会議の内容

- ①課題となる行動についての情報収集・整理・共有
- ②課題となる行動への対策
- ③関係機関との連携
- ④スケジュールの提示と活動の追加



〈5〉 ①課題となる行動についての情報の収集・整理・共有

課題となる行動をカテゴリー別に分類

【T様の支援について】

		トイレ詰まり	排泄行為	嘔吐	他傷行為	物を壊す	その他
5/30	火	トイレAを詰まらせようとした					
6/1	木	トイレAが詰まった					
6/3	土				利用者を叩く		
6/5	月	トイレCが詰まった					
6/6	火	トイレAを詰まらせようとした			利用者を叩く		大声で叫ぶ
6/7	水	トイレAを詰まらせようとした			利用者を叩く		大声で泣く
6/13	火		(尿)2階作業室で尿漏れ				
6/14	水				利用者を蹴る		
6/21	水		(尿)静養室で尿漏れ				
6/29	木		(尿)定位置のソファで尿漏れ				
〃	〃		(便)便器の前で排便				

		トイレ詰まり	排泄行為	嘔吐	他傷行為	物を壊す	その他
5/30	火	トイレAを詰まらせようとした					
6/1	木	トイレAが詰まった					
6/3	土				利用者を叩く		
6/5	月	トイレCが詰まった					
6/6	火	トイレAを詰まらせようとした			利用者を叩く		
6/7	水	トイレAを詰まらせようとした			利用者を叩く		
6/13	火		(尿)2階作業室で尿漏れ				
6/14	水				利用者を蹴る		
6/21	水		(尿)静養室で尿漏れ				
6/29	木		(尿)定位置のソファで尿漏れ				
〃	〃		(便)便器の前で排便				
7/4	火		(尿)フロアで尿漏れ				
7/6	木		(尿)フロアで尿漏れ			自分の靴下を破る	利用者の臀部のにおいをかがせる
〃	〃						利用者の臀部を触る
7/11	火		(尿)フロアで尿漏れ				
7/12	水		(尿)2階作業室で尿漏れ				
7/13	木				利用者を叩く		お茶をひっくり返してこぼす
〃	〃				利用者をモップの柄で叩く		
7/19	水						来客の見学時に泣く
7/26	水				利用者を叩く		
〃	〃				職員に足をかける		
8/3	木				実習生の腕をひねる		
8/5	土			嘔吐した	利用者の腕を掴む、叩く		描いた絵を破る、机に絵を描く
8/5	土				職員の腕をひねる、蹴る	長机を倒す	

- ・ 1つの行動が短期間に集中
- ・ 行動が移り変わっている！

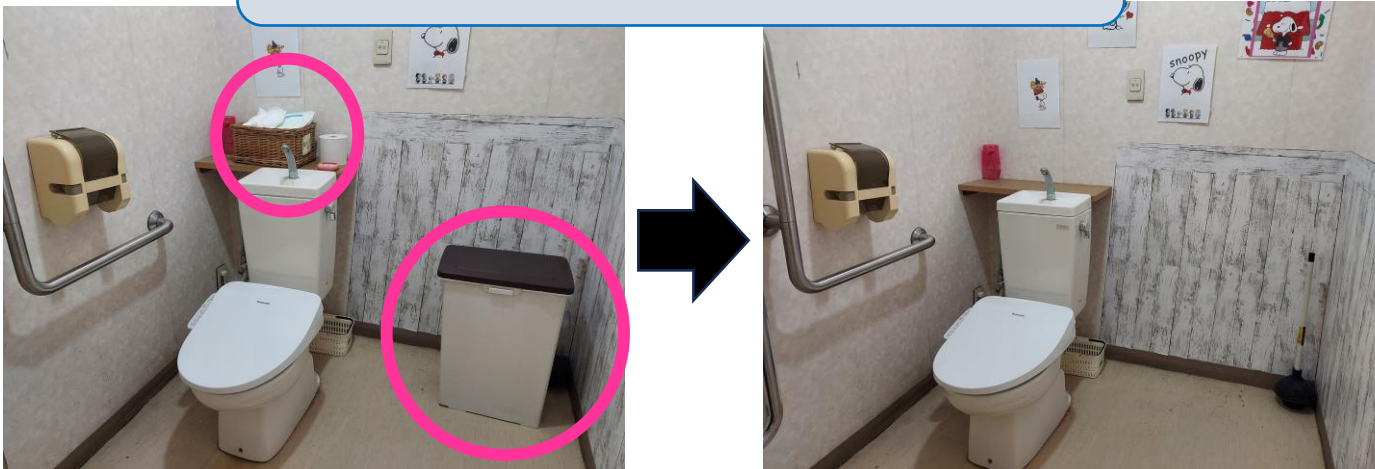
〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆トイレ詰まり

- ・トイレ内の小物
- ・活動場所の小物
- ・ポケットに入っていたもの
- ・自身が履いていた靴下

【対応(1)】

①流れそうなものを撤去



②持ち物を持たずに入ってもらう



〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆トイレ詰まり

【対応(2)】

トイレに行く際



T様

物を流しません！
守ります。

トイレに行く時は
物を流しません！



支援員

【結果】

- ・トイレ詰まりはほとんど無くなった
- ・自分が着用している衣類や汚物入れのごみ袋を流そうとする行為が出現するが、都度、状況を確認し、見直している

〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆排泄行為

【状況】

- ・ トイレ以外の場所で衣類を着用したまま排泄
- ・ 尿を漏らし、汚れていない衣類も含め全身着替える
- ・ 尿漏れが無くても「漏らした」と訴えて着替ようとする
- ・ 故意に衣類を濡らして着替えを要求することが増えた

「漏らした」という訴え・衣類を濡らす行動
＝ 「着替えを使い切りたい！」の意思表示？

〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆排泄行為

【対応】

- ・ 来所時に、着替えを預かる
⇒ T様は自分の着替えを目にする機会がなくなることで、
着替えの枚数を把握することが無くなる

【結果】

- ・ 着替え回数 1日3回程度 ⇒ 2週間に1回程度
- ・ 1年ほど経過した頃より、再び着替えの回数が増えた
多い日で1日7回着替えることがある

〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆他傷行為

- ・叩く、足で蹴る、腕を捻る
- ・他者に向かって物を投げる

【対応(1)】

①レイアウト変更

②パーテーション設置



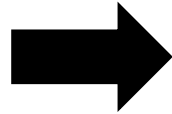
T様の定位置

〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆他傷行為

【対応(2)】

活動スペースを大きく変更



他利用者と同一空間
他傷行為に繋がる可能性大

別の階の空きスペースを利用
小集団で活動できる
K職員がマンツーマンで見守り、活動を行う

〈5〉 ②課題となる行動への対策

☆他傷行為

【結果】

- ・ 他利用者への他傷行為は無くなった
- ・ 2～3名での小集団あれば、K職員見守りのもと、一緒に活動できるようになってきた
- ・ K職員への依存が強くなり、K職員不在の度に、尿漏れや物を投げる行動が増えた

【今後の取り組み】

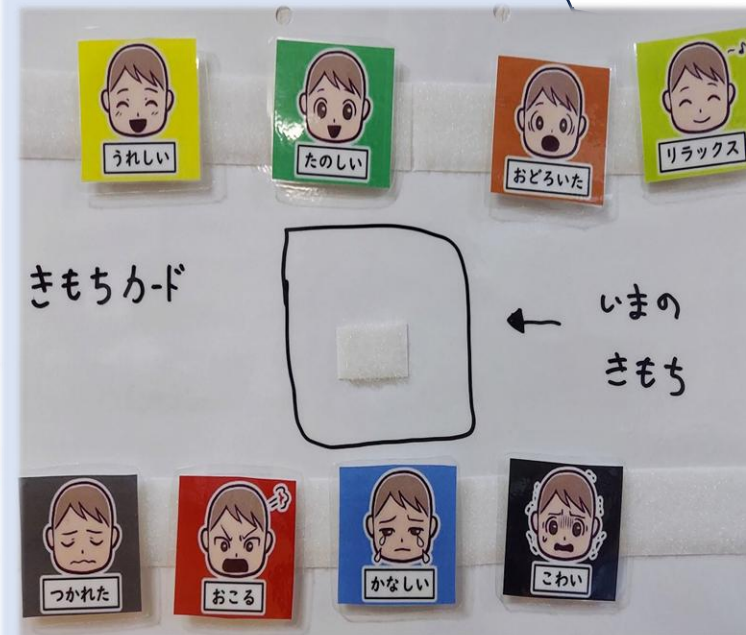
- ・ K職員への依存を少しでも分散させるため、K職員の支援方法を参考にしながら、T様と一緒に活動を行う。

〈5〉 ③関係機関との連携

糸取り作業



散歩



課題となる行動が減らず、常に細心の注意が必要…

- ・ 支援の行き詰まり
- ・ 支援者の疲弊



〈5〉 ③関係機関との連携

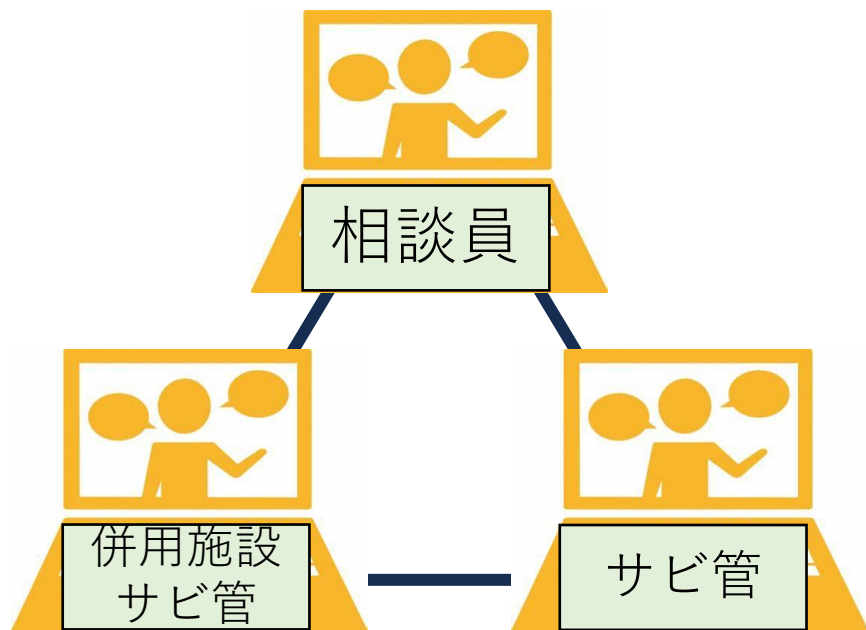
「私たちだけで考えても上手くいかない」

「みんなに助けを求めよう！」

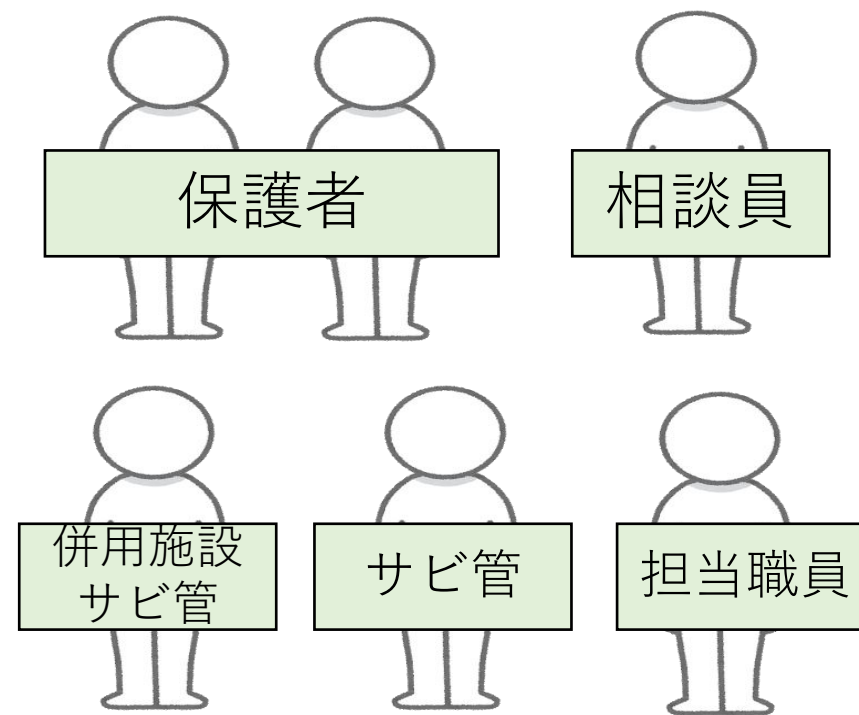


〈5〉 ③関係機関との連携

普段の情報共有
オンライン



R6.4月 担当者会議実施 (集合形式)



医療との連携が不十分！

〈5〉 ③関係機関との連携

担当者会議を行ったことで・・・

☆医療との連携

- ・相談員や各施設のサビ管が通院に同行し、クリニックの専門医から支援の助言をもらう（現在も実施中）



☆併用施設との連携

- ・連絡帳を共有し、当事業所の利用日以外の様子を把握（常に情報共有ができる）

〈5〉 ④スケジュール作成や活動の追加



口頭で半日ずつ予定を伝える

~~スケジュール支援の再開~~

~~午前と午後の活動を
〔文字〕で表示した
スケジュールを用意~~

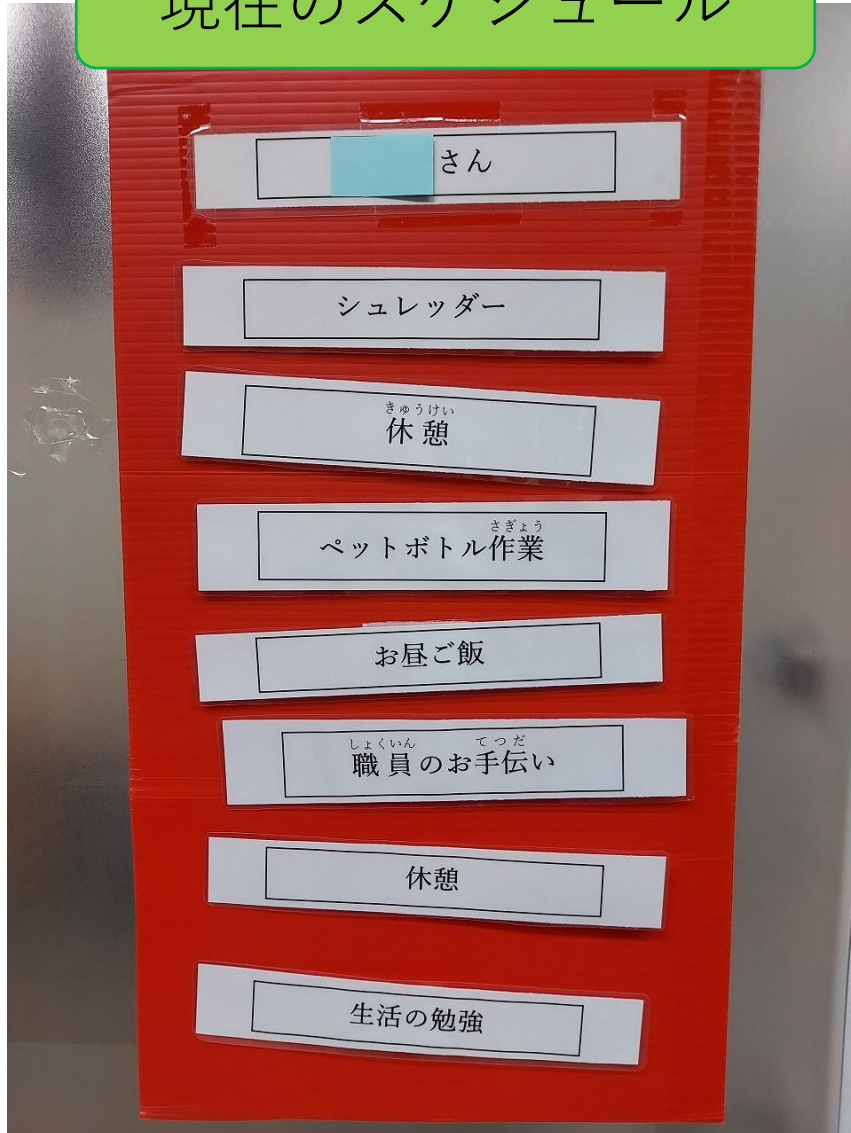
破られてしまう・・・

口頭では見通しが
つかないから、
スケジュールの視覚化
が必要だ！！

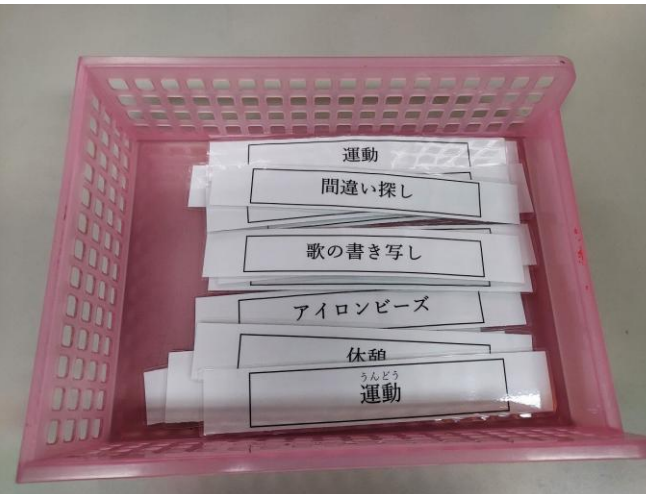


〈5〉 ④スケジュール作成や活動の追加

現在のスケジュール



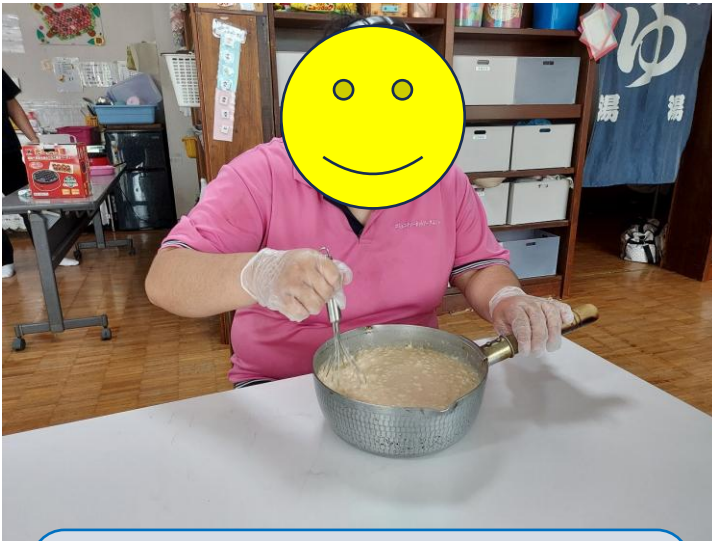
- ・気分がのらない活動は自分で外せるので、T様の気持ちを確認しながら進めることができる
- ・定期的に自分でスケジュールの確認を行っている



〈5〉 ④スケジュール作成や活動の追加

活動時間を増やすために・・・

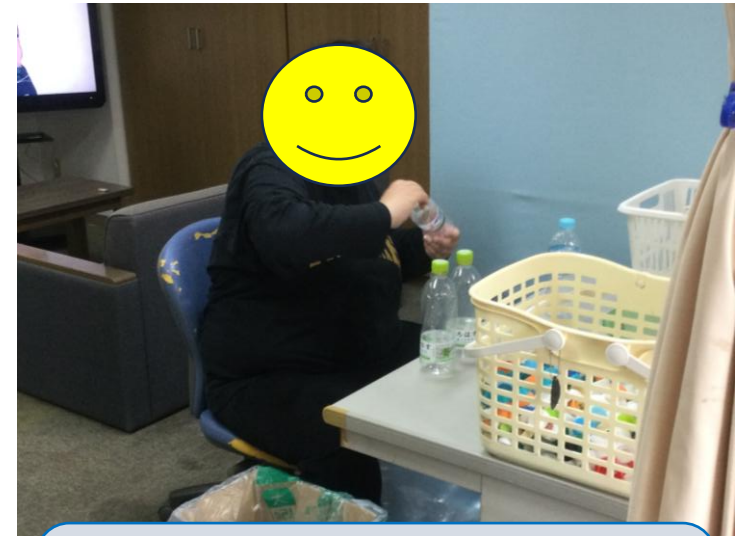
- ・Tさんの「好きなこと」から新たな活動を追加



クッキング



音楽療法
(ミュージックケア)



社会貢献活動
(リサイクル)

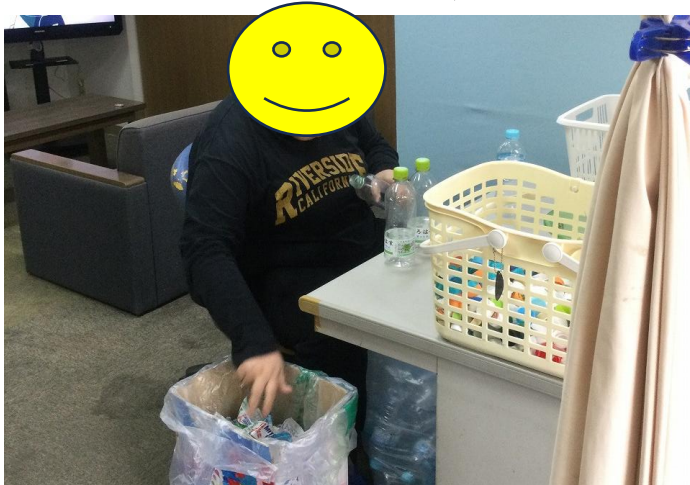
〈5〉 ④スケジュール作成や活動の追加

☆音楽療法（ミュージックケア）



- ・徐々に参加時間が延び、60分の活動中、30分程度参加できるようになってきた

☆社会貢献活動（リサイクル）



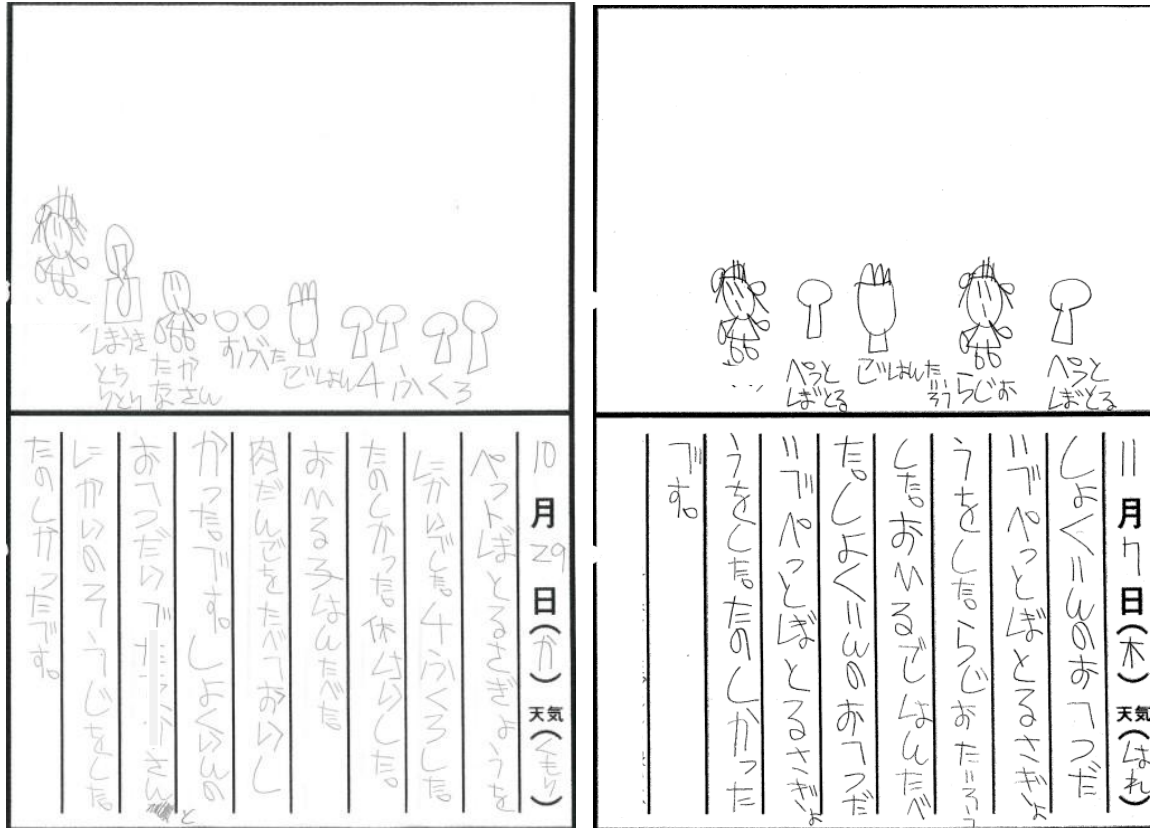
- ・ペットボトルのラベルとキャップを外して分別
- ・併用施設や支援学校時代にも取り組んでいたため、意欲的に取り組むことが出来ている

〈6〉 実践して良かったこと

- ◎関係機関とのつながりを強化できたことで、併用施設での状況把握や、他機関への相談が出来て、支援の幅が広がった
- ◎スケジュール作成により見通しが持て、活動に取り組める時間が6時間中、最大4時間半まで増えた
- ◎ケース会議を繰り返し実施したことで、支援者全員が同じ方向を向いて支援できるきっかけになった

〈7〉 現在実践していること

絵日記



【目的】

自分の気持ちを言葉や絵で表現する

植物の栽培



【目的】

物を大切にすることを学ぶ

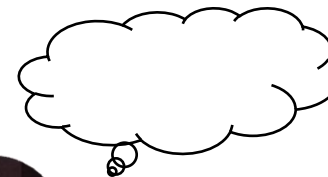
〈8〉 まとめ



情報収集



ケース会議の実施



分析・仮説



実行



振り返り



〈8〉 まとめ

今後も、T様に合った構造化を進めつつ、
ケース会議や関係機関との連携を続け、
支援員一丸となってT様が穏やかに過ごせる
日々を目指していきます！



ご清聴ありがとうございました